



朝霞地区医師会 かみまき いさむ 上牧 勇
☎464-4666

新型コロナウイルスは、全世界で流行し、これまで2億5900万人の感染者と517万人の死者数が報告され、我々の生活を一変させました。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する根本的な治療は、現時点では存在せず、ワクチンが日常を取り戻す唯一の手段と考えられています。2021年2月にはファイザー社のメッセンジャーRNA（mRNA）ワクチンが特例承認され、その後、モデルナ社のmRNAワクチンも承認されました。ここでは、これらのmRNAワクチンについて解説します。

最初にmRNAワクチンとはどんなものか解説します。

ウイルスは、感染して人の細胞に侵入すると、ウイルスの持つmRNAからタンパク質を作らせ、増殖していきます。つまり、ウイルスの持つmRNAとはウイルスの設計図といえます。また、ウイルスが人の細胞に侵入する際に重要な役割を果たすのが、表面にある“とげ”のようなスパイクタンパクです。今回のmRNAワクチンは、ウイルスの一部であるスパイクタンパクをターゲットとしています。mRNAワクチンは、スパイクタンパクの設計図となるmRNAを薄い膜で包んでいます。このワクチンを接種すると、スパイクタンパクの設計図であるmRNAが人の細胞に取り込まれ、細胞内でスパイクタンパクが産生されます。体内では、スパイクタンパクに対して免疫反応が起き、感染を防御する中和抗体が産生され、細胞性免疫も誘導されます。そのため、ウイルスがヒトの細胞に侵入しようとしてもスパイクタンパクに対して抗体などが作用することから感染を防御します。新型コロナウイルス全体のmRNAをワクチン成分として投与するわけではないので、COVID-19を発症することはありません。

次にワクチンの効果についてです。

ワクチンの効果を確認する臨床試験においては、発症

を防ぐ効果が検討されていました。発症とは、感染後に症状が出た状態のことを指しています。ファイザー社とモデルナ社のmRNAワクチンは、発症予防効果が約95%と非常に高い効果でした。また重症化を防ぐ効果についても90%以上の効果が報告されています。デルタ株などの変異株においては、ワクチンの効果が低下していると言われていますが、重症化の予防効果は保たれているとされています。重症化を防ぐことができれば、ICUなどに入院する患者数が抑制され医療崩壊を防ぐことができますので、重要なポイントです。

次にワクチンの副反応についてです。

現在接種されているmRNAワクチンに含まれるmRNAは早期に分解され長期間細胞内に残存せず、ヒトの染色体に組み込まれることはなく、安全性が高いとされています。接種後、最も一般的な副反応は接種部位の痛みで70～80%でみられます。発熱などの全身性の副反応については、2回目の接種後10～17%にみられています。特に高齢者よりも若年群で頻度が高い傾向にあります。そのほかに若年男性において心筋炎の発症が報告されています。今回のmRNAワクチンはこれまでになかった仕組みのワクチンですので、接種後には注意深く経過観察することが重要です。今後、3回目の接種がはじまりますので、常に最新の情報に注意してご自身の意思で接種について判断する必要があります。

2021年11月の時点で日本での感染者数は100人前後と抑制されていますが、南アフリカでは新規の変異株オミクロン株が報告され、今後さらなる拡大が予想されます。変異株に限らず新型コロナウイルスは、ワクチンを接種しても感染しないわけではないようです。これまでの日常を取り戻すために、しばらくの間は個人の感染対策を継続し、医療崩壊を起こすことなく、この危機を乗り切れるよう協力する必要があるようです。

日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施 設 名	科 目	電話(048)	場所	施 設 名	科 目	電話(048)
2	6	和光 西谷医院	内、小、循内	461-2226	朝霞 根本整形外科		整外	467-4154
	11	新座 たきやま小児クリニック	小、アレ	477-8620	朝霞 福島眼科		眼	469-1006
	13	朝霞 大城クリニック	内、胃・肝内、内視鏡内科	463-1575	和光 和光耳鼻咽喉科医院		耳、アレ	467-0889
	20	新座 海江田医院	内、小、神内	042-491-6262	朝霞 朝霞整形外科・外科		整外	461-5128
	23	朝霞 富岡医院	内、循内、小	461-7581	志木 たなか整形外科クリニック		整外、リウ、リハ、麻	486-1010
	27	朝霞 鈴木内科	内、小	473-6611	志木 志木江原耳鼻咽喉科		耳	473-7929

※当番医は変更になる場合があります。確認してからお出かけください。

救急医療のお問い合わせ

- 埼玉県南西部消防本部 ☎460-0123
- 埼玉県救急電話相談 #7119(全国共通ダイヤル)または ☎824-4199 (ダイヤル回線、IP電話、PHS)

日曜日、祝日に
開局している
薬局
下のコードから
確認できます。

